

発掘!

白石

本市には歴史・文化を支えるさまざまな文化財が数多く存在し、文化財の保護・保存とその活用にも努めています。今回は、これまでに発掘調査された遺跡の中から古代の郡役所跡が発見された大畑遺跡とその関連遺跡について紹介します。

◎生涯学習課 ☎22-11343

奈

良時代初めの西暦721年、柴田郡からは郡の中心となる役所がつくられました。白石郡役所跡は白石駅の北方から北東に広がる大畑遺跡にあります。「東大畑」の子育て応援住宅の東側で、郡役所の主要な施設である正倉跡が7棟発見されています。正倉と言えれば校倉造で高床式の東大寺正倉院宝庫が有名ですが、郡役所の正倉は税として集めた稲を収めた穀倉です。正倉群は溝で区画されていました。



▲大畑遺跡の正倉 一辺9mの礎石建物跡

正倉跡には地面に直接穴を掘って柱を立てた掘立柱建物跡と、礎石の上に柱を立てた礎石建物跡があります。掘立の柱は直径30cmもあり、礎石の石には1m以上のものもあります。礎石の正倉を建てる際には、まず建物よりひと回り大きく地面を掘り下げ、その内部を突き固めながら埋め戻す地盤改良工事が行われています。近年、礎石建物は地震の揺れを減らす建物として注目されています。

「東大畑」には、高くて大きい高床式の倉庫群が整然と建ち並んでいました。周りを圧倒するような正倉群は郡役所を象徴する施設です。郡役所には正倉のほか、庁舎、宿泊施設、調理場、馬小屋、寺院などもありました。さらに役所につながる道路や運河もあったはず。今後の新発見が期待されます。

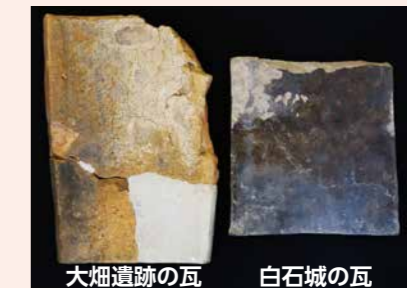
大畑遺跡からは郡役所で使われた土器(素焼きの土師器と窯で焼かれた須恵器)、必需品の硯、屋根の瓦などが出土しています。土師器は基本的には地元のものですが、東北北部、北関東西部、福島県会津地方の土師器に似たものもあります。須恵器は職人が窯で硬く焼き上げた高級品です。貴重品とされる会津産のツボもありますが、多くは地元産で、傑山寺裏山にある八幡坂窯跡にもあります。八幡坂は仙南方最大の須恵器窯跡です。奈良時代の須恵器には北関東や東海の特徴、平安時代の須恵器には



▲八幡坂窯跡の須恵器カメラ 接合・復元中



会津や出羽の特徴が見られます。また、「大王」の文字が刻まれたカメラの破片もあります。「王」の文字が小さいので「奉」などの1文字を表現している可能性もあります。1300年前の白石人が刻んだ文字。白石最古、県内最古級の貴重な文字資料です。



▲大畑遺跡の瓦は幅20cm・長さ35cm 重さは5kgで、白石城の瓦の2.5倍 新生児の平均体重より重い

瓦は郡役所正倉の屋根にふかれたものと考えられています。常林寺裏山にある元山瓦窯跡で焼かれた瓦もあります。元山の瓦は群馬県前橋市にある関東最古級の寺院の瓦に類似し、福島県相馬市にある東北最古の寺院の瓦ともよく似ています。未発見の古代寺院が市内どこかに眠っているかもしれません。大畑遺跡の土器や瓦は古代の白石が日本各地とつながっていたことを教えてくれます。遺跡(埋蔵文化財)は本市の財産であり、白石の魅力を高める歴史的資産です。

(白石市文化財保護委員 小川淳二)

くらしのなかの 水道・下水道



～災害対策の取り組みについて～
防災カメラ設置と水道連携協定

水道・下水道は皆さんの衛生環境を整える一番身近で大事な公共物です。隔月で水道・下水道についてお知らせします。

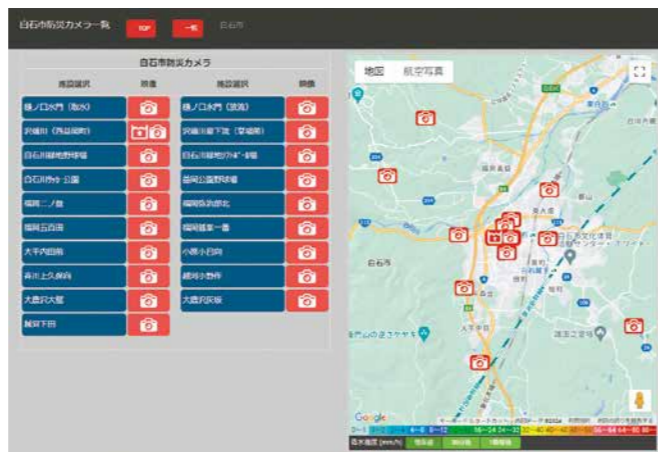
☎上下水道事業所 ☎25-5522

■防災カメラを整備しました!

近年の局地的な豪雨などによる災害に対応するため、市内の主要なインフラ施設に防災カメラを設置しました。これらの映像は、市民をはじめ多くの方に情報を提供するため、市ホームページで公開しています。気象情報と併せてご覧いただき、災害時などの情報収集にご活用ください(スマートフォンからも利用できます)。



▲トップ画面の「防災カメラ」をクリック



▲一覧または地図のカメラマークを選択



▲選択した場所の映像(写真は福岡狐峯一番)



▲白石市公式ホームページ

ホームページを見てね。



■水道水供給の連携協力について、蔵王町と基本協定を締結しました

基本協定には三つの目的があります。①広域連携の一つとして自然災害による水道施設の被災による水の安定供給リスクを抑えるための緊急時連絡管の新設、②水道用資機材の相互融通および共同調達による経営コストの削減、③両市町の水道従事職員の技術の維持向上を図ること、これらの目的を達成するため連携して取り組んでいくことで合意しました。



▲基本協定を締結しました



▲蔵王町からの水道水連携エリア